

# 一宮市立市民病院 医薬品情報室(DI 室)だより Vol.4

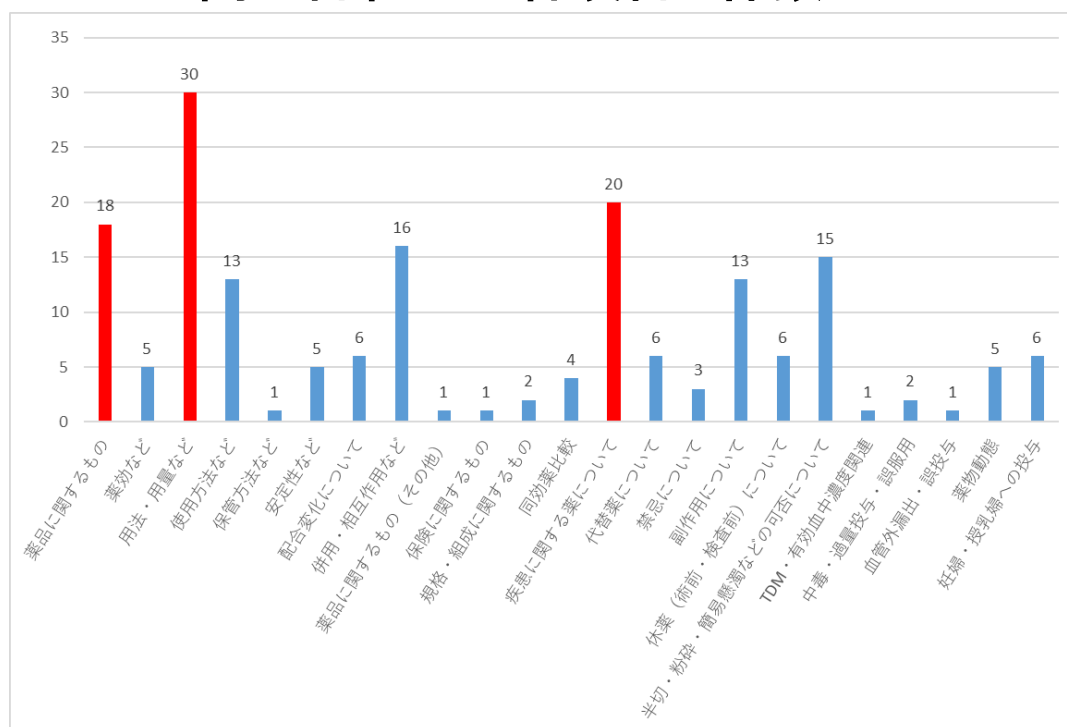
一宮市立市民病院 薬剤局 医薬品情報室(以下 DI 室)では、医療従事者等からの問い合わせ内容の一部を電子化にて保存しております。

今回、2018年4月から2019年3月までの期間に DI 室にて対応を行った、

**「180件」**の問い合わせ内容を項目ごとに分類し集計いたしました。

その中で、実際の問い合わせ内容を、一部以下にご紹介いたします。

## ～ 問い合わせ内容項目と件数 ～



### ① 用法・用量など

#### 問い合わせ内容 例①

**肝左葉切除後のワルファリン投与量はもともとの維持量より減らした方がいいですか？**

(回答)

肝機能の低下が考えられる場合には、PT-INR 延長の可能性があり、減量の検討は必要になると思われます。投与量変更後 3 日間程度で PT-INR に反映されるため、モニタリングを行い調整してください。

## (補足) 肝機能障害時のワルファリン投与について

肝疾患患者ではワルファリンの感受性が増加していると思われ、PT-INR が上昇する要因となる。理由として、以下の点が考えられる。



- ・肝疾患では肝で産生されるビタミン K 依存性血液凝固因子の合成能が低下していること
- ・ワルファリンの代謝は肝で行われるため、肝疾患ではその代謝が低下すること
- ・閉塞性黄疸、胆道瘻では、胆汁中へのワルファリンの排泄障害や胆汁分泌不全による消化管からのビタミン K 吸収障害を伴うため

また、ワルファリンの経口投与後の抗凝固効果は 12~24 時間目に発現し、十分な効果は 36~48 時間後に得られ、その作用は 48~72 時間持続するといわれている。

参考文献: エーザイ株式会社ホームページ Q&A Hotline、「Warfarin 適正使用情報」

## ② 併用・相互作用など

### 問い合わせ内容 例②

**カルシウム拮抗薬と甘夏の併用可否について教えてください。**

(回答)

**薬とグレープフルーツとの相互作用でよく知られている成分の「フラノクマリン類」を含むことが報告されているため、Ca 拮抗薬服用中の摂取は避けてください。**



### (補足) カルシウム拮抗薬とグレープフルーツ・その他柑橘類との相互作用について

カルシウム拮抗薬とグレープフルーツとの相互作用についてはよく知られており、添付文書に記載もあり注意喚起されている。グレープフルーツ以外の柑橘類にもフラノクマリン類を含有するものがあり(表 1)、そのような柑橘類はグレープフルーツと同様に相互作用に注意が必要とされている。また、ほとんどの柑橘類においてフラノクマリン類は果汁よりも果皮に多く含まれていると報告されており、柑橘類の果皮を含有する食品は特に注意が必要である。

表 1 フラノクマリン類含有の有無

フラノクマリン類を含有するもの	スウィーティー、メロゴールド、バンペイユ、レッドポメロ、ダイダイ、ブンタン(ザボン)、ハッサク、サワーポメロ、メキシカンライム、甘夏ミカン、サンパウカン
フラノクマリン類が極微量または検出されなかったもの	ネーブルオレンジ、温州ミカン、ポンカン、イヨカン、デコボン、ユズ、レモン、スダチ、カボス

#### 参考文献

Saita T et al. Screening of furanocoumarin derivatives in foods and crude drugs by enzyme-linked immunosorbent assay. Jpn. J. Pharm. Health Care Sci. 2006; 32: 693-699.

